

かたの民報

議会版

2008年3月2日
NO. 1421

【発行】
日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部 1-1-1
☎ 892-0121
(内線 301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎ 893-6785



さかの 光雄
私部 1-38-23
☎ 893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎ 894-2835

日本共産党「乳幼児医療費助成を5歳未満まで引き上げる」条例提案

3月議会

子育て支援として、子どもの医療費助成の年齢拡大を求める声が高まっています。日本共産党議員団は3月議会で、「交野市の乳幼児医療費助成（通院）の対象年齢を、現在の4歳未満から5歳未満へと引き上げる」条例提案を行いました。採決は本議会最終日となっています。

子ども医療費助成の拡大を求める請願は市民団体から、昨年6月と12月議会に提出されましたが、残念ながら否決（共産党は賛成）となりました。全国的にも医療費助成対象年齢が拡大されるなか、子育て世帯には、子ども医療費助成制度の拡充は日々切実な願いとなっています。

日本共産党議員団は3月議会で、交野市の未来を担う子どもたちの育成支援として大きな役割を果たす、乳幼児医療費助成を現在の4歳未満から5歳未満まで拡大する条例提案を行いました。

今回の提案理由として、国の医療制度の改定による本市の財政負担の軽減があります。これまで国制度として、3歳未満までの医療費は2割負担となつて

いましたが、4月からの改定で、就学前まで2割負担となります。これによって、市負担の通院と入院費合わせて約1100万円（H20年度予算案）が軽減されます。

医療費助成対象年齢を1歳引き上げるには約1500万円が必要ですが、市軽減分1100万円に400万円を上乗せするだけで助成年齢が1歳拡大できます。

また、条例案では施行を10月1日としているので、今年度は半年分の750万円の予算で可能であり、新たな財源を持ち出さずにすく実現できます。



請願書「市道森南17号線（JR河内磐船駅西側階段路）のバリアフリー化早期実現について」

日本共産党市会議員の3人が紹介議員に

JR河内磐船駅西側階段路のバリアフリーの早期実現を求める請願が、森区長、森友クラブ会長、天野が原町1・5丁目自治会長、天野が原町星友クラブ会長を始め、近辺の自治会長や

老人クラブ役員から、市議会に提出されました。日本共産党市会議員の3人が紹介議員となりました。請願の採決は、3月議会最終日の28日（金）に行われます。日本共産党は、この場所

のバリアフリー化を、これまで市議会で要望してきました。請願書を掲載いたします。



請願書「市道森南17号線（JR河内磐船駅西側階段路）のバリアフリー化早期実現について」

森南17号線は北側地域に、バスターミナル・診療所・商業施設などがあり、ゆうゆうセンター・JR河内磐船駅・京阪河内森駅等の利用とあわせ市民生活の中で重要な位置を占めています。

ところが森南17号線が階段利用のため、身体障害者はむろんのこと老人・足腰の弱い人・買い物カートを引く人など多くの市民が非常に不便を感じ困難を強いられています。

更に車椅子を利用する人・乳母車を押す人たちは利用すらできません。

少し整備された別の通路である京阪交野線西側の通路は幅も狭く、自転車・バイク・乳母車等々行き交い事故も何回か起きているのが現状です。

「交通バリアフリー法に基づくJR河内磐船駅・京阪河内森駅周辺地区整備基本構想」は平成14年3月 計画決定されていますが、森南17号線はまだバリアフリー化されていません。

交野市でも高齢化者社会が進むなか、生活道路のバリアフリー化は多くの市民の切実な願いです。

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法」に基づき「森南17号線のバリアフリー化」の早期実現を強く要望いたします。